



西宮ユネスコ

2017.9 第147号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）

発行人：古 胡 博 巳 編集人：青 木 弘 子



夢はぐくむ教育のまち西宮

西宮市教育長 重松 司郎

西宮ユネスコ協会におかれましては、長きにわたり、教育や科学、文化を通じて、国際理解や世界平和のためにご活躍されていることに、心より敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

ユネスコ憲章前文には、「文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果たさなければならない神聖な義務である」（抜粋）とあります。

今、依然として世界各地で地域紛争が続いており、また、子どもをめぐっての痛ましい事件が多発していて、ユネスコ憲章の理念がますます重みを増してきています。

私たちは、自ら学び続けるとともに、次代を担う子どもたちへ、よりよい教育・学習を提供しなければなりません。

あの阪神・淡路大震災時に、「子どもたちが夢と希望を持ち続けられる教育を行う」という関係者の強い決意から生まれた「夢はぐくむ教育のまち西宮」

が、今日においても、西宮教育推進の理念となっています。

これらの理念に基づき、今後、未だ色褪せない輝きを放つ文教住宅都市宣言にふさわしい教育を実現し、子どもたちの育ちにより環境を充実していきます。

西宮で育つ子どもたちは、未来の日本を切り拓く宝です。彼らが大人となったときに西宮での学びと育ちに誇りと感謝をもてるような環境を用意することは、現在の西宮の大人の使命です。彼らがたくましさや優しさ、豊かな感性を身につけることができるよう、平成28年度に策定した「西宮市教育大綱」を礎として、取組みを進めてまいります。

今後も、教育委員会といたしましては、女性・子ども・高齢者・障害のある人・同和問題・外国人などの人権に関わる今日的な課題の解消に向け、共に生き、共に幸せを共有する社会を目指して、豊かな人間性を培う人間尊重の教育を積極的に展開していくとともに、「ユネスコ精神」の更なる普及に努力してまいります。

西宮市教育大綱（前文）

子供たちは、未来の主演です。彼らは、現代の社会が実現できなかった夢をこれから実現し、新しい価値を創造する存在として、敬意と寛容さをもって育まれるべきです。

大人は、子供に対して深い愛情を持って接するべきです。但し、ただ弱い未完成な存在ととらえて、守り慈しむだけではいけません。子供の育ちへの大人の過干渉や過保護は、子供の自立した人間性の育成を阻んでしまいます。大人がすべきことは、子供たちが、たくましさ、優しさ、豊かな感性を身に付けることのできる環境を整えることです。

西宮市は、子供に期待することと、その実現のために大人に期待することをここに示し、広く市民と共有するとともに、これを今後の子供を中心とした西宮市の教育・子供施策の礎とします。

2017 年度通常総会開催

西宮ユネスコ協会の 2017 年度通常総会は 5 月 13 日（土）、西宮市役所東館 8 F 大ホールで開催されました。来賓として今村岳司市長（名誉会長）、重松司郎教育長、上田幹社会教育部長、野田昭治人権教育推進課課長、西川哲人権教育推進課係長の 5 氏にご出席いただきました。

総会は、初めに辰馬章夫会長が「ひとりひとりが防災意識を心かげなければならない中、それぞれが行う善意を当たり前のことととらえて、手を差し伸べることができる心を育てることが大事です。これを ESD、ユネスコスクールにつなげ、草の根運動としてユネスコ活動を進めていきたいと思っています」と挨拶されました。次いで今村市長、重松教育長から祝辞をいただきました。

議事は辰馬会長が議長となり、2016 年度活動報告・会計および監査報告、2017 年度活動計画案・予算案が審議され、すべて承認されました。また、本年度は役員の改選期に当たり、服部かほる、樋口さち江の両氏が新しく常任理事に加わっていただきました。



総会後のミニコンサートは「西宮市吹奏学会」の演奏で、行進曲「星条旗よ永遠なれ」のスタンダード曲や「煙が目にしみる」「枯葉」などなじみの曲が演奏されました。その後恒例の懇親お茶の会が開かれました。

第 73 回 日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台

2017 年 7 月 15 日（土）・16 日（日）に仙台国際センターで「発祥の地 仙台から世界 UNESCO 憲章の理念を未来に！」を大会テーマに開催されました。西宮ユネスコ協会から 4 名が参加しました。

世界最初のユネスコ協力会（後のユネスコ協会）は、1947 年仙台で誕生し本年 70 周年を迎えました。民間ユネスコ運動は世界各地へ広がり 70 カ国 3500 のユネスコ協会・クラブへ引き継がれ世界各地で活発に活動しています。

第 1 日目は今年 6 月に就任された日本ユネスコ協会連盟大橋洋治会長の挨拶で始まりました。

特別講演はノーベル平和賞受賞者ラジェンドラ・クマール・パチャウリ氏による「気候変動に挑戦する知と勇気をもつ若者を育てよう」と題しての講演でした。気候変動の影響は年毎に深刻化してきており早急な解決にむけて CO₂ 排出削減に努力する行動こそ、地球社会が平和になる唯一の方法だと強調されました。

高校生パネルディスカッションは、3 校の高校 2 年生が①地域の人口減少や高齢化問題②東日本大震災による津波と原発放射能災害③地球規模の水問題について討論され、人権・平和へのメッセージが高校生から世界にむけて発せられました。

第 2 日目は、映像と演奏による特別講演「地球のステージ」。講演者の桑山紀彦氏は、精神科医、心療内科医の現役医師であり、世界の紛争地、地震の被災地、難民キャンプなどで国際医療活動をされています。そこで出会った人々の輝き、明るくたくましく生きる姿、音楽と映像、語りを交えての講演でした。平和へのメッセージを伝え続ける桑山氏の熱い思いを私達も伝え続けなければと思いました。

パネルディスカッション「ESD 地球の平和を守ろう」は、3 名のパネリストが取り組んでいる活動①人権の立場から大震災時に、避難所や仮設住宅での被災女性への支援活動②自然と共生しつつの米作り「ふゆみず田んぼ」での実践で自然が持つ力の素晴らしさ③ユネスコ無形遺産である「和食」の普及活動、の発表を通して討論しました。

大会最後に「民間ユネスコ運動 70 周年ビジョン」～ミッションと重点目標～が発表されました。（機関誌ユネスコ 2017.7 1157 号参照）

“学び行動する民間ユネスコ運動”として、平和の心を次世代に伝え、世界平和のために前進することを確認した大会でした。

プログラムの最後は、特別演奏として“UNESCO 平和芸術家”二村英仁氏によるヴァイオリン演奏を心静かに聴きながら大会の幕をとじました。

今回は 2018 年 7 月 7 日（土）・8 日（日）北海道函館の予定です。

ユネスコチャリティーバザー 2017 開催

第 45 回ユネスコチャリティーバザーは 9 月 10 日（日）、西宮市立夙川公民館で開催されました。今回も厳しい暑さの中でのバザーでしたが、11 時の開場前には沢山の人が列を作っていました。今回も会員の皆さまや、市政ニュースなどで開催を知っていただいた市民の方々から多くの寄贈をいただきました。有難うございました。

みんなく探検

第5回「みんなく探検」は8月3日（木）に開催されました。国立民族学博物館（みんなく）は世界の人びとの暮らしやことば、芸能や音楽などの資料が数多く展示され、また展示物を見て回るだけでなく、触ったり鳴らしたりすることが出来、異文化の理解を深いところで感じ取れる博物館です。

今年は29名の応募参加（児童15名、保護者14名）があり、館内では西宮ユ協理事で同博物館名誉教授の松澤員子先生、教授の南出和余先生に説明していただきました。

モンゴルの遊牧民の生活用具を直かに触り、身につけたりすることなどに興味しんしんで、皆さんの関心が集まっていました。

館内の見学の後、セミナー室で感想などを話し合い、先生方の講評もあり子どもたちにとって有意義な夏休み体験になったようです。



参加者によるアンケート

児童

- ・いろいろな国の道具などに出会えて、とても楽しかった。
- ・モンゴルのことを学べて良かった。
トイレが川ではやらずに野ぐそでやるんだと分かった。
- ・電子ガイドがとても良かった。

保護者

- ・膨大な資料と展示品があり、また改めてゆっくり来たいです。モンゴルの遊牧民の生活用具を直かに触り、身につけられるのは良かった。
- ・親子で沢山の文化、民族に触れ合うことが出来、展示物にも興味深かったです。時間があまりなくゆっくり見学出来ず残念でした。
- ・孫に誘われて一緒に自然学習が出来て良かった。

今後学習してみたいテーマ

- ・乗り物紹介。
- ・中国の民族のことを知りたい。
- ・馬頭琴による演奏が聞きたい。

世界遺産シリーズ

シントラの文化的景観

田岡 清志

その昔、夏の避暑地として王侯貴族に愛された街シントラ、その街外れの貴族の館ティボリ・パラシオ・セテアイスホテルに滞在する。優雅な旅だ。

前日はここからリスボンへ郊外電車で日帰りの旅を楽しんだが、今日はゆっくりシントラの街と世界遺産の王宮やペーナ宮殿を見学しようと循環バスでまず王宮へと出かけた。王宮は二本の円錐形の高い塔がシンボルとなっている。王宮に到着したが生憎休館日であった。世界遺産にも休館日はあるらしい。

王宮周辺の街並みは建物がカラフルでイギリスの詩人バイロンが「エデンの園」と称えたというほど綺麗なもので「シントラの文化的景観」の構成要素となっている。街中を散策してみる。メルヘンチックで、特に女性には人気になりそうだ。シントラは小さな街で小一時間もすると散策は終わった。

散策後、循環バスで「ペーナ宮殿」に向かう。この城はシントラの郊外にあり「まるでおとぎ話に出てきそうなお城」と紹介されていた。

ペーナ宮殿の近くでバスを降り入場券を買う。ここから宮殿入口までは専用バスで向かうことになる。バスは急な坂道を登り程なくして城門が見えてきた。「なんだかあまり綺麗やないな」口を出た言葉がこれである。宮殿の外壁は雨垂れのシミで汚れている。城門から続く通路の壁も黒く汚れている。カビによるシミだと思われる。その理由は建物内を見学し最上部のテラスに出た時に解った。



テラスからは大西洋の海原が見える。海からの霧が吹き上げてくる。その霧や雨が建物にダメージを与えているのだ。美しさを追求するのかそれともありのままで見せるのか世界遺産の価値判断として難しい事なのかもしれない。

防衛のための城ではないのでもう少し綺麗にして欲しいと思う世界遺産ではあった。



事務局だより

☆高校文化祭で「書きそんじハガキ」のお願い

西宮市立高校の文化祭に参加、「書きそんじハガキキャンペーン」を行いました。

西宮市立西宮高校の文化祭は6月30日(金)、7月1日(土)の両日行われました。1日目は生徒のみ、2日目は家族、関係者が来校しての文化祭でした。西宮ユ協では「書きそんじハガキ」関連のポスターを貼り、チラシを配布して回収のお願いを、また東南アジアで行われている「世界寺子屋運動」の状況を映像で流してPRにつとめました。

西宮市立西宮東高校の文化祭は7月8日(土)に開催されました。西宮ユ協は校門の近くにテントブースを設置していただき、「書きそんじハガキキャンペーン」と共に「東日本大震災こども教育支援」の募金活動も行いました。寄せられた募金は日本ユネスコ協会連盟に送金しました。

今回、文化祭に参加できましたことは、両校の担当の先生方、事務局の皆様のご尽力によるもので厚く感謝申し上げます。



☆書きそんじハガキ・募金協力者(2016.4～2017.3)

ハガキ

〔幼稚園〕越木岩・鳴尾北・大社・用海・南甲子園・子育て総合センター附属あおぞら・名塩・上ヶ原・浜脇・山口・鳴尾東〔小学校〕樋ノ口・春風・高木・苦楽園・瓦林・鳴尾・大社・津門・段上・北夙川・小松・浜脇・安井・東山台・西宮浜〔中学校〕西宮浜・真砂〔個人〕藤本久美子・前田正治・和田さと子・石原るみ子・稲野絹子・福島志保・岸田麻衣子バレースクール〔公民館〕若竹生活文化会館・段上・今津・神原・春風・南甲子園〔図書館〕北口・鳴尾〔支所〕瓦木 他
213,121 円分の切手を日本ユネスコ協会連盟へ送りました。

募金

南健一郎・西口清子・ハッピーマザー 21 他

世界寺子屋運動にご協力いただき有難うございました。(敬称略)

哀 悼

会員 村上 正子 平成 29 年 3 月 31 日
ご冥福をお祈り申し上げます。

協会日誌

(2017 年 4 月～
2017 年 9 月)

- 17.4.6 英語教室第Ⅰ期開講 (プレラ 4 F)
- 5.13 2017 年度通常総会・会員懇親お茶の会
「ミニコンサート」
出演 西宮市吹奏学会吹奏楽団
(西宮市役所東館 8 F 大ホール)
- 5.31 2017 年度兵庫県ユネスコ連絡協議会総会
(園田学園女子大学大会議室)
- 6.16 手作りの会
(教育委員会 3 F 第 2 小会議室)
- 6.17 第 68 回日本ユネスコ協会連盟総会
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 6.30 西宮市立西宮高校文化祭参加
- ～7.1
- 7.8 西宮市立西宮東高校文化祭参加
- 7.15 第 73 回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台
- ～16 「発祥の地 仙台から世界へ」
UNESCO 憲章の理念を未来に！」
- 7.21 阪神間ユネスコ協会連絡会①
(アステ川西 6 F 市民プラザ)
- 8.3 “みんなく探検”(市教委・西宮ユ協共催)
(吹田・国立民族学博物館)
- 8.31 さくら FM “西宮ユネスコ協会紹介”の
収録・放送 (さくら FM スタジオ)
- 9.7 英語教室第Ⅱ期開講 (プレラ 4 F)
- 9.10 第 45 回ユネスコチャリティーバザー
(夙川公民館)
- 9.末 会報 147 号発行

— 今後の催しの予定 —

- 17.10.14 2017 年度近畿ブロックユネスコ活動研究会
(和歌山・粉河ふるさとセンター)
- 11.11 第 43 回日本ユネスコ協会連盟評議員会
- 11.17 第 38 回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
講演会「知っているようで知らない天気予報」
講師 南 利幸氏(気象予報士)
(西宮市役所東館 8 F 大ホール)
- 11.18 にしのみやふるさとウォーク 2017
(甲陽園西山公園～甲山自然環境センター)
- 12. 1 阪神間ユネスコ協会連絡会②
- 12. 研修見学会
- 18.1.11 英語教室第Ⅲ期開講
- 1. 新年理事会、懇親会
- 1. 文楽鑑賞会
- 1.13 日本ユネスコ協会連盟評議員会
- 2. 第 22 回西宮国際交流デー
- 2. 国際理解講座
- 2. 坂田記念セミナー
- 3. 阪神間ユネスコ協会連絡会③
- 3.20 第 33 回ユネスコ世界児童画展(市教委共催)
- ～25 (市民ギャラリー)
- 3.末 会報 148 号発行